

野々市市子ども・子育て支援ニーズ調査について

1 調査の目的

市が策定する「子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とする。

この事業計画（27～31 年度）で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用状況」を把握

2 調査の概要

（1）対象・件数・目標回収率等

対象	件数	回収率 (想定)	配布・回収
小学校就学前児童を持つ保護者（必須） 平成 19 年 4 月 2 日生れ～平成 25 年 9 月 1 日生れ <u>（兄弟姉妹がいる場合は年齢が上の児童）</u>	約 3,000 件	40%	郵送
小学生を持つ保護者（任意） 小学生の中から各学年のクラスを抽出	約 1,500 件	70%	小学校

（2）実施スケジュール（予定）

平成 25 年 10 月 31 日（木）	第 1 回会議	調査票の審議・確定
11 月中旬		調査票発送
11 月下旬		調査票回収
平成 26 年 1 月下旬	第 2 回会議	調査結果について 事業量の見込みについて
平成 26 年 3 月下旬	第 3 回会議	県の報告について 事業計画骨子案について

（3）調査票（案）

（ア）就学前児童用

資料 8－1 のとおり

（イ）小学生用

資料 8－2 のとおり

3 調査票（案）作成にあたっての基本的な考え方

国が示す調査票（ひな形）は設問項目が多いため、回答者の負担軽減と回答率・回収率の向上のため、以下の考えを基本とする。

○国が示す必須項目※は削除しない。※量の見込みを推計する上で必要な項目

○「ひな形」の任意項目を精査し、設問数を絞りこむ。

○市の独自質問を必要最低限設ける。

○計画に反映しない調査は行わない。

○回答者の負担軽減と回答率・回収率の向上を考慮し、回答しやすいように
文章・言葉遣い・設問の順番やレイアウト等を工夫する。

4 調査票の構成

小学校就学前児童調査	小学生調査
1. 子どもと家族の状況	1. 子どもと家族の状況
2. 育ちをめぐる環境（独自項目）	2. 育ちをめぐる環境
3. 保護者の就労	3. 保護者の就労
4. 育児休業の取得状況	4. 放課後児童クラブの利用
5. 日常的な幼稚園・保育施設等の利用	5. 病気の際の対応、不定期な一時預かり
6. 土曜・休日・長期休業中の定期的な幼稚園・保育施設等の利用	6. 児童館の利用
7. 病気の際の対応	7. 子育てに対する意識
8. 幼稚園・保育施設等の不定期な利用等	自由記入
9. 地域における子育て支援	
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方	
11. 子育てに対する意識（独自項目）	
12. 幼稚園・保育園の満足度（独自項目）	
自由記入	